

組合だより

第 238号 平成26年 4月 日本羊腸輸入組合

”頑張ろう日本”

東京では、桜の開花宣言があった直ぐ後に強風を伴った低気圧の来襲で、咲き始めた桜が蕾を固くして強風に耐える姿が見られましたが、皆様の近所では如何でしょうか。

さて、3月の消毒受付数量ですが、1月の129万Hksの大量受付には及びませんでした約92万Hksとなり、今年度の月別受付量の3番目の記録でした。こうした受付数量により平成25年度合計でも約941万Hksに達し、月平均にすると78万Hksになっておりました。

これは、平成25年度予算を決めた総会での予想の羊腸67万Hks/月及び豚腸1万Hks/月の合計68万Hksを、月々10万Hks上回る受付量となっています。

1. 組合の活動報告

検査委員会

去る3月14日(金)、午後1時30分から、成田検査所で開催しました。議題としては検査所内を視察して問題点の指摘と改善策を検討、輸入ケーシングの消毒・検査実施要領、検査における衛生管理システムのHP掲載について及び前回の検査講習会の報告について(変形リンパの検査基準と報告について、それらの判断基準のサンプルの収集について)。

それらの検討の中で、組合員さんが検査報告書の中の何を利用しているのか調べる必要が出て、現在、「検査報告書」に関するアンケートをさせて頂いております。

その他、通常の束と著しく異なる形態のものの消毒に関する相談があり、過去にも同様の問題が出て、文書を配布した経緯があることが判明したため、理事長名で25日羊輸第42号の文書を組合員に郵送しました。

さて、財務省通関統計によれば、平成26年2月の天然ケーシングの総輸入量は376.6トン、前年同月に比べ約132.8トンの増加(+54.5%)でした。国別では、中国原産のものが240.0トンで、前年同月に比べ86.1トンの増加(+56.0%)でした。

同様に、オーストラリア原産のものは71.1トンで、前年同月に比べ53.1トンの増加(+294.9%)となり、ニュージーランド原産のものは35.6トンで前年同月に比べ33.3トン減少(-48.3%)となりました。

平成26年3月の組合受付数量は、915,270ハンクスと前月に比べ648,774ハンクス増加(+243.4%)し、対前年同月比で見ると470,642ハンクスの増加(+105.9%)でした。

*平成26年3月の組合受付数量

船舶	855,150 ハンク	
航空	60,120 ハンク	
合計	915,270 ハンク	(対前年同月比 205.9%)

*平成25年度(4月～3月まで)の組合受付数量

9,406,904 ハンク (対前年度比 107.6%)

2. 検査所だより

成田検査所の動向

3月の航空貨物の受付数量は、60,120Hksで、2月の輸入量が少なかったため対前月比340%の大幅な増加になりました。

この結果、航空貨物の平成25年度の実績は、579,556Hksとなり、前年度実績(453,049Hks)を27.9%上回りました。

3月31日現在、成田検査所に搬入された貨物は、4月7日までに消毒完了する予定です。

3月12日に動物検疫所成田支所の職員が検疫第三課長に引率され施設見学に訪れ、所長より事業概要説明の後、消毒・検査業務を熱心に見学し、幾つかの質問をして帰所した。

3月14日に当検査所で平成25年度第3回検査委員会が開催されました。

同委員会で改善等指導された事項につきましては、早急に対処してまいります。

なお、多額の費用を要する事項につきましては、本部と相談して進めてまいります。

平成26年3月分受付数量及び消毒等実績

種	類	前月からの繰越	受付	消毒	翌月への繰越
航空	羊腸	3,200	60,120	38,320	25,000
	豚腸	0	0	0	0
	合計	3,200	60,120	38,320	25,000
船舶	羊腸	41,800	9,480	51,280	0
	豚腸	0	4,600	4,600	0
	合計	41,800	14,080	55,880	0
合計	羊腸	45,000	69,600	89,600	25,000
	豚腸	0	4,600	4,600	0
	合計	45,000	74,200	94,200	25,000

(単位:羊・豚腸:Hks、牛腸:Bundle)

横浜検査所の動向

1. インフルエンザ及びノロウイルスの発症例が多くなっているため、引続き職員に手洗い、うがい等を励行するよう周知した。
2. 横浜及び新山下検査所の残業体制は3月20日(木)で終了し、3月24日(月)から通常勤務体制とした。
3. 動物検疫所施行による羊腸消毒所給水装置の工事が3月21日(金、祝日)、22日(土)に行われ、受水槽ポンプの交換がなされた。

[3月の受付数量と消毒数量]

1. 3月の受付数量は855,150Hksと、前月に比べて606,356Hks増加し、前月比343.7%となった。
 2. 3月の消毒数量(横浜検査所)は379,054Hksで、前月に比べ55,098Hks減の消毒数量であった。
 3. 3月の成田転送分は14,080Hks(12日、20日)でした。
4. 消毒終了予定

消毒貨物が順調に搬入された場合の消毒終了予定日は、平成26年5月8日(木)です(成田転送分を含む)。

注: 消毒予定の順番は、当分の間、搬入期日が決まった順に消毒することにしていきますので、消毒終了予定が受付番号順と異なることがあります。

5. 3月の受付数量、消毒数量、成田転送状況は、次のとおりです。

種別	前月の 繰越分	受 付 数 量	消 毒 数 量			成田転送 数 量	翌月への 繰 越 分
			横 浜	新山下	小計		
羊腸	686,894	826,500	344,004	389,970	733,974	9,480	769,940
豚腸	53,800	28,650	35,050	14,250	49,300	4,600	28,550
計	740,694	855,150	379,054	404,220	783,274	14,080	798,490
牛腸	0	0	0	0	0	0	0

(単位:羊・豚腸:Hks、牛腸:Bundle)

新山下検査所の動向

桜も咲き始め、心も浮かれやすいこの季節、辛い花粉の季節、うがい、手洗い、休憩室でもマスクと、職員一同花粉対策をしております。春のこの時期、初めて社会人になったころを思い出し、初心に帰って消毒業務に励んでおります。

なお、3月25日、動物検疫所検疫部より初任研修者が1名見学に参りました。

当所の3月受付数量及び消毒数量は、下表の通りです。

種別	前月の 繰越分	受 付 数 量	消 毒 数 量	翌月への 繰 越 分
羊腸	31,800	404,320	389,970	46,150
豚腸	5,250	9,000	14,250	0
計	37,050	413,320	404,220	46,150
牛腸	0	0	0	0

(単位:羊・豚腸:Hks、牛腸:Bundle)

3. 今後の予定

- 4月16日(水) 10:00～ 会計監査(於:本部会議室)
 12:00～ 第9回理事会(於:本部会議室)
- 5月28日(水) 14:30～ 第51回通常総会(第1回理事会開催)
 17:00～ 懇親会
 (於:浜松町東京会館)

*** 事務局からのお知らせ**

＜関係機関の人事異動＞

去る4月1日付で、当組合が大変お世話になった農林水産省の方々が以下のとおり異動となり後任の方が着任されましたのでお知らせ致します。

農林水産省消費安全局動物衛生課 葛井陽介氏
農林水産省生産局畜産部食肉鶏卵課へ異動(後任者未定)

定年退職 横浜検疫所長 吉田 稔氏
横浜検疫所長 小倉弘明氏(大臣官房政策課調査官兼消費・安全局動物衛生課)
定年退職 横浜検疫所総務部庶務課長 堂籠秀志氏
横浜検疫所総務部庶務課長 畠山 強輔氏(生産局生産部畜産振興課畜産専門官)
定年退職 成田支所長 小田 茂氏
成田支所長 向井清孝氏(横浜検疫所検疫部長)
定年退職 成田支所庶務課長 鈴木 昇氏
成田支所庶務課長 桜田眞一氏(中部空港支所庶務課長)

＜第39回食肉産業展について(結果報告)＞

1. 開催時期 平成26年4月2日(水)～平成26年4月4日(金)
2. 開催場所 東京ビッグサイト 東4ホール
3. 入場者数 73,195人(主催者発表)
4. 組合の取組 来場者に、天然腸を使用したウインナーソーセージ、フランクフルトソーセージ、ポローニャソーセージを試食してもらった。
試食に供したソーセージの量は、約2000本。ウインナーやフランクフルトは2～4つに切ったので、大凡5000人程度の方が食したと思われる。
同時に、組合員名簿を挟んだ組合パンフレット1,450部も配布した。